

## 生まれながらの「スマホ世代」の皆さんに Part2

※オンラインでスライドを用いてお話しています。

5月全校朝会で「生まれながらの『スマホ世代』の皆さんに」というお話をしているので、本日の集会は「Part2」です。5月には「インターネットからの情報が正しいと限らない」「インターネット上に情報を載せることには危険が潜んでいる」というお話をしています。その後も、インターネット上に「自分自身」「友達」などの画像などを掲載することによるトラブルが起きています。警察などの関係機関にも関わっていただく例もありました。危機感をもって、「ネットトラブル未然防止集会」を冬休みの前に実施します。

先月末 オーストラリア議会で世界初となる法案が可決しました。「16歳未満 SNS 利用禁止 法案」です。SNS（インスタグラムやTikTok、Xなど）の利用開始年齢を16歳以上とする内容です。この法案には、国民の77%が賛成なのだそうです。なぜ、この法案ができたのでしょうか。目的は何なのでしょう。1つは「スマホ依存症から子供を守る」目的です。スマホ依存が子供の脳に重大な影響を及ぼしたり、夜遅くまでSNSを利用し続けることで、不安感や攻撃性が高まったりするなどの報告があります。2つ目の目的は「暴力や自殺、いじめなどから子供を守る」ことです。子供を取り巻く重大な事件の発生も報道されています。では、なぜ16歳未満なのか？15歳までは、脳の成長期とされているからだそうです。ですから悪い影響も強く受けてしまうのです。また、多くの情報の真偽を正しく見極める力も十分でないからなのだとされています。日本で言えば、15歳までが義務教育ですね。15歳が区切りであることは、感覚的には理解できます。

日本の実態はどうなのでしょう。「スマホ依存症」については、2023年度調査で、平日1日の平均ネット利用時間は、中学生4時間42分に上ったとの報告があります。「スマホ依存チェックリスト」で自分自身のチェックをしてみるといいですね。スマホ依存傾向は、中学生の5人に1人という調査もあります。では、富士見中学校では？「HQCシート

の生活習慣改善プロジェクト」を通して「1日のテレビ・ゲーム・スマホ・パソコンの利用時間」の結果も出ています。「3時間以上」が30%を超える学年もあります。とても心配です。「暴力や自殺、いじめなど」については、暴力の加害側になってしまった2つの事例（プレゼンシート参照）を紹介します。どちらの事例も「自分はそんなことするわけではない」と思う事例かもしれませんが、「自分の言葉で、人を傷つけたり、人を不安にさせたりする」という観点から見れば、それは十分に起こりうることだと思うのです。

富士見中生に改めて伝えたいことは2つです。各家庭のルールを再確認することです。もしルールがないのならば、自分自身のためのルールをつくってください。スマホ、自宅パソコン等の使用時間を減らすことが、分かりやすい実践目標です。2つ目は、インターネット上に情報を載せることには危険が潜んでいることを再認識することです。罪に問われることもあるし、何より周りの人や自分自身を傷つけないようにすることが大切です。基本的なことですが、「人にされて嫌なことは、絶対にやらない」という小さな頃から繰り返し言われていることを意識し直すことが、とても大事なのだと感じています。

このあとは、生徒指導主任の小山先生のお話、そして、2本の動画を視聴します。ネットとの向き合い方を考える時間にして下さい。

熊谷市立富士見中学校長 田沼良宣